

# 子育て・福祉ネットワーク通信-13

2007年11月発行 NPO全国子育て・福祉支援ふれあいネットワーク

〒130-1307埼玉県狭山市祇園3-20ピラ祇園2F TEL/FAX04(2956)4477

2007年 秋の親子ふれあいまつり



人気の体験コーナー

多彩なステージ



紙芝居を演じる荒木文子さん（上）と、会場の子どもたち。

NPO全国子育て・福祉支援ふれあいネットワークとNPO日本標準教育研究所の共催で「2007年秋の親子ふれあいまつり」が好天にめぐまれた10月21日(日)に行われました。

会場となった日本標準統合物流センターは、近隣から家族連れなど1000人を超える参加者でにぎわい、終日子どもたちの歓声につつまれました。

## ふれあいステージでは

和太鼓演奏で幕が開き、主催者を代表して、NPO全国子育て・福祉支援ふれあいネットの小松福三理事長が開会のあいさつをしました。

授産施設かわせみの有志が元気よくエールとダンスを披露。続く「子ども国際交流」では、子どもたちがイギリス、韓国、フィリピンの人から自国の言葉で動物の名前を覚えてもらったりプレイルーム(幼児教室)の斎藤裕美さんの指導で外国語のゲームを楽しみました。

お昼タイムをはさんで、門倉節明狭山市教育長があいさつ。狭山市若葉台の親子和太鼓グループ「フレンズ・ポコアポコ」による創作和太鼓演舞、山田雅彦日本標準社長のあいさつが続き、岡野平八さんのマジック・切り絵ショー、荒木文子さんの演じる紙芝居を、子どもたちは楽しそうに見入っていました。

「狭山市と日高市ではどちらが面積が広いか」など、地域に関するテーマでの〇×クイズのあとは、なつかしの愛唱歌から最近のヒット曲まで、新井幸子さんのアコーディオン伴奏にのって「みんなで歌おう」。

最後は、会場いっぱいに広がったの狭山YOSAKOI紗恋乱が威勢よく「よさこいソーラン」。見物者も加わり、会場がひとつになってエンディングとなりました。



←開会のあいさつをする小松福三NPO理事長

祝辞を述べる門倉節明狭山市教育長 →



「日本は地図のどこかな？」(子ども国際交流)



フレンズ・ポコアポコの和太鼓演舞



元気にダンスをする授産施設かわせみのみなさん



あら不思議！マジックショーは子どもたちに大人気





アコーディオン伴奏で会場は「うたごえ喫茶」に

家族そろって昼食



躍動！狭山YOSAKOI紗恋乱



フィナーレは、会場がひとつになって、「よさこい！」

## フードコーナー & 販売コーナー



NPOハンマウムの会のチヂミは本場韓国仕込みの味

はつらつ作業所の焼きそば・カレーライス・野菜、NPOハンマウムの会のチヂミ、サイボクハムのソーセージ、パン屋さんボンヌメールのパン・弁当、うどんなどがすべて完売となりました。

販売コーナーでは、バザーをはじめ日本標準の書籍・文具類、岡野園のお茶、授産施設かわせみのクッキー・工芸品・花などを買い求める人たちにぎわいました。



「焼きそば、カレーはいかがですか」(はつらつ作業所)



バザー会場はいつも人だかりが...



## 体験・遊び・縁日コーナーで

体験コーナーは親子や子どもたち同士がものづくりを体験するコーナーは順番を待つにぎわいでした。

新狭山ハイツ寿会はスーパー紙トンボ教室、NPOけやの森自然塾はリサイクル品を利用したおもちゃ作り、川越遊びの学校は竹ぼっくり作りや弓矢遊び、火起しなどを指導。自然科学教育研究所はペットボトルを使ってロケットを作って飛ばしました。

ウルトラ21アート研究所のお絵かきコーナーでは、子どもたちが思い思いに絵を描き、見事な壁画を完成させました。

家庭学習教材「はつらつ」の展示とパソコン体験学習コーナーも好評でした。

日本標準社員がボランティアで開いた縁日コーナー。子どもたちはヨーヨーつりやダーツゲーム、サッカーボウリングなどを楽しんでいました。

子どもアート教室会員の作品や㈱環境サービス社の環境への取り組みを紹介したパネルなども展示されました。



紙トンボづくりに真剣なまなざし(写真上)、リサイクルおもちゃ作りに取り組む子どもたち(写真下)



大きな画用紙に思い切り絵筆をはしらせました。



↑  
うまく竹が切れるかな？  
(竹ぼっくりづくりかな？)

ゲームをしながら楽しく学習



自転車の空気入れでロケットを飛ばします。